

川口中学校区 の 地域づくり

川口中学校区地域づくり推進計画 概要版

地域の将来ビジョン

住みたくなる、住み続けられるまち川口
～自然と共生し、大人から子どもまでのつながりを大切に～

地域づくりとは？

「幅広い世代が交流できるようになるといいな」「身近に集まれる地域の居場所がほしいね」「まちの行事や取組を共有したい」「豊かな自然を守っていくために何ができるだろう？」

まちの皆さんが地域の魅力や課題について話し合い、こうありたいと思う未来に向けて主体的に取り組んでいく「地域づくり」を進めていきます。

川口中学校区 の地域づくり



該当住所

上川町全域、川口町全域、美山町全域、
犬目町 738、739、1014～1019、1020-1～2、1021-1～2、1022～1030、1031-1、
1031-3、1031-9～12、1031-20～37、1032-2、1033-1～2、1034～1080、
1081-1～3、1082-1～2、1083～1717、1720～1743、1745～

川口中学校区は、上川町、川口町、美山町の全域と、犬目町の一部から構成され、八王子市西部に位置しています。中央部を川口川が流れ、それに平行するように秋川街道が通ります。また、秋川街道から南へ美山通り（都道61号線）があり、戸沢峠を越えた、川口川と北浅川に挟まれた台地に住宅が集中しています。

魅力

地域環境に関すること

- 上川町、川口町、美山町、犬目町は地域の居住環境が違う
- 川口町は戸建てが増え、新住民が増加している
- 上川町は地域内での結束力が強い印象がある
- 美山町は戸沢峠を越えた地域で、美山町独自の文化がある

地域活動に関すること

- 住民活動が盛んである
- NPO 法人やボランティア団体の活動が多い

自然・四季に関すること

- 動植物、山や川など豊かな自然に親しむことができる
- 四季の変化を感じることができる

暮らしに関すること

- 静かでのびのび暮らすことができる
- 地域住民の交流があり、地域の人に見守られながら生活できる

課題

公共交通手段の不足

- 川口小学校以西はバスの本数が少なく、車などの移動手段がないと不便である
- 道幅が狭く、交通量が多いため渋滞する

交流機会・居場所の不足

- 昔からこの地に住む住民と新しい住民同士でつながる機会が少ない
- 日常生活のなかで、多様な世代が集まる場所、子育て世代や新住民との接点の場がない

地域活動の担い手の不足

- 60～80代が地域活動の中心であり、若い世代の地域づくりへの参加が少ない
- 各地域団体における担い手が不足している

身近な活動拠点の整備

- 地域団体などが活動するにあたり、身近に集まれる拠点が少ない

情報発信・共有の不足

- 地域の情報が一括で入手できるような機能、しくみがない
- 地域の活動団体同士がお互いの活動内容を知らない

防災・安全

- 空き家が多い
- 身近に避難所が少ない

※魅力と課題は、川口中学校区（川口地区）住民アンケートの結果や推進会議での主な検討内容をジャンルごとに整理したものです。

川口中学校区の 将来ビジョン

川口中学校区地域づくり推進会議などでありたい姿について検討を行い、地域の将来ビジョン(目標)を掲げました。

住みたくなる、住み続けられるまち川口 ～自然と共生し、大人から子どもまでの つながりを大切に～

将来ビジョン
に込めた思い

地域に住む子どもから大人までの人々が、つながりや結びつきを大切にしていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。

アクションプラン

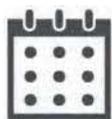
1

優先的に取り組む
アクションプラン

プラットフォームづくり

～地域の情報や担い手が集まる場づくり～

季節のイベントや防犯パトロールなど、住民活動が盛んなこの地域は、団体活動が重複し、マンパワーが分散している傾向にあります。そこで、地域情報を集約した「コミュニティカレンダー」の作成や、多世代が顔を合わせるきっかけとなる「マルシェ」を開催し、活動の効率化と広がりを生み出していきます。



コミュニティカレンダーづくり

地域内の各団体や組織が横のつながりを持ちながら情報を共有し、地域がより活性化することを目指してコミュニティカレンダーをつくる。



マルシェの開催

地域の活性化のため、地域内で顔の見える関係づくりを行うことを目的に、マルシェを開催する。

アクションプラン

2 活動拠点の整備

アクションプラン

5 交通利便性の向上

アクションプラン

3 地域情報の発信力の強化

アクションプラン

6 地域の担い手の育成

アクションプラン

4 地域コミュニティの活性化

アクションプラン

7 行政との連携強化

地域づくり推進計画の策定過程

私たちは、令和3年（2021年）6月に**地域づくり推進会議**（以下「推進会議」という。）を立ち上げました。推進会議では、まず長期的な視点をもって地域のありたい姿として将来ビジョンを決定し、地域における様々な現状や課題を整理しました。その後、地域の将来ビジョンの実現に向けて検討を重ね、具体的な行動計画となる「**川口中学校区地域づくり推進計画**（以下「推進計画」という。）」を策定しました。

推進計画の策定にあたっては、推進会議での議論を中心とし、そのほかにも地域の活動団体や住民の皆さんなどに参加いただいた「地域づくりワークショップ」での意見交換や、「学生との意見交換会」を開催し、あらゆる世代が地域づくりに参加できるよう検討してきました。

推進体制・計画の進め方

地域づくりを進めていくうえで重要な役割を担う推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民が参画し、自分たちでやりたいことを実現していく『地域のプラットフォーム』となることを目指していきます。地域の活動団体や住民がつながりを持ち、協力し合いながら地域づくりに取り組んでいけるよう進めていきます。

地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域が主体的に、また地域と行政が協働しながら課題解決に取り組んでいくためのアクションプランを定めました。アクションプランは、令和4年度（2022年度）から、地域主体で取り組んでいくものを優先的アクションプランとして取組概要などを決定しています。そのほかのアクションプランについては、今後取り組んでいく候補として、令和4年度（2022年度）に具体的な検討を進めていきます。

地域づくりへの御協力をお願いします

私たちの地域を「みんなが安心して楽しく暮らすまち」にするため、自分たちで取り組んでいきたいことをまとめました。地域の将来ビジョンを実現するためには、1人でも多くの地域に関わる皆さんの参加が必要です。ぜひ、今後の地域づくりに御協力をお願いします。

川口中学校区地域づくり推進計画概要版

令和4年(2022年)3月

発行 川口中学校区地域づくり推進会議

編集 八王子市 未来デザイン室

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-620-7307 FAX 042-627-5939